

構造活性フォーラム2022

In silicoアプローチによる毒性予測研究および周辺分野の現状と展望

6月3日(金)

オンライン開催

開場／AM10:00 開始／AM10:20

【主催】日本薬学会構造活性相関部会

【協賛】日本化学会・情報計算化学生物学会(CBI学会)

【後援】日本毒性学会

基調講演 「毒性発現メカニズムに基づく一般化学品の毒性予測 —AI-SHIPSプロジェクト—」

船津 公人 (奈良先端科学技術大学院大学)

講演1. 「Applicable Artificial Intelligence Method to Drug Metabolism and Pharmacokinetics
- Comparison of Various Methods for Metabolic Active Sites -」

笹原 克則 (Otsuka Pharmaceutical Development & Commercialization, Inc.)

講演2. 「大規模変異原性データを用いた第二回Ames / QSAR国際チャレンジプロジェクト」

古濱 彩子 (国立医薬品食品衛生研究所)

講演3. 「AI創薬の基盤とデータ統合」

水口 賢司 (大阪大学蛋白質研究所・医薬基盤健康栄養研究所)

講演4. 「拡散方程式のADMET予測モデルへの適用」

日高 中 (武田薬品工業)

講演5. 「副作用研究におけるAIの可能性」

奥野 恭史 (京都大学大学院医学研究科)

構造活性フォーラム2022事務局

〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1 明治薬科大学・医療分子解析学研究室内

実行委員長: 植沢芳広 (明治薬科大学)

公式サイト: <http://www.qsarj.org/forum2022/index.html>



明治薬科大学
医療分子解析学研究室